

FD・SD 研修「ゆんたく de スクブン」シリーズ

第1回「代理職のお悩み相談所」を開催しました

本学独自の様々な「スクブン」を共有・蓄積する研修を通し、多様な教職員が繋がり、学びあい、支えあえる職場環境の実現を目指し、令和5年度より「ゆんたく de スクブン」シリーズを開始することといたしました。沖縄のことばで、「ゆんたく」はざっくばらんに楽しく話をする事、そして「スクブン」とは、職分や使命、役割を意味します。このシリーズを通し、本学ならではのスクブンを蓄積し、メンタリングやスキルアップ等、様々な支援へ繋げる予定です。

第1回目として、令和5年11月22日にSD研修「代理職のお悩み相談所」を開催しました。代理職のポジションで活躍する女性職員12名が参加し、それぞれの部署の課題や、自身の悩み事などが共有され、課題の解決方法や必要とされるスキルについて話し合いました。今回共有された課題は、代理職以外の役職者やマネジメントに携わる教員にも通じる課題であると感じ、3月15日にスキルアップセミナーを開催することといたしました。このセミナーは、ダイバーシティ推進セミナー（FD・SD研修）として提供する予定です。

参加者の声

- 今回のセミナーは本音を語り合えるとても良い機会でした。関連業務が無い限り、同じ職位で話す機会がないので、代理職として抱える問題・課題を共有できたことは非常に良かったと思います。
- 同じ悩みをもった方々と話題を共有する機会を与えていただき大変ありがたかったです。今後もセミナー等があれば積極的に参加し横の繋がりを強化したいと考えております。



オーガナイザー養成支援を実施しました

将来、学内外においてリーダーシップを発揮できる女性研究者の育成を目的としており、女性教員自らがオーガナイザーとして研究発表会やセミナー・シンポジウム等の企画・運営に携わる際、その開催に係る費用の一部を支援する「オーガナイザー養成支援」を募集しました。厳正なる審査の結果、下記1名を採択しました。

【採択者】 田中 厚子 助教（理学部）

研究発表会「植物イメージングの会」

日時：令和5年10月28日(土)午後～令和5年10月30日(月)午前



国際学会派遣+1 Visit

女性研究者の研究力と管理運営能力の向上を推進することを目的とした「国際学会派遣+1 Visit」を実施しました。

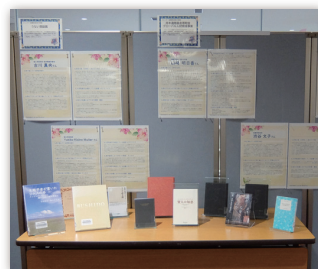
本制度は、国際学会等で女性研究者自らが研究成果発表を行う場合において、国際共同研究を推進するための新たな研究ネットワークの構築や、管理運営に関して先進的な取組を行う教育研究機関等を調査訪問することを「+1 Visit」として旅程に加えていただくもので、係る費用の一部を補助するものです。下記1名を採択しました。

【採択者】 加瀬 保子 准教授（国際地域創造学部）

附属図書館企画展「国際ガールズ・デーから考える学びの機会」の共催

琉球大学附属図書館との共催による企画展「国際ガールズ・デーから考える学びの機会」を、令和5年10月10日(火)から10月31日(火)までの間、琉球大学附属図書館本館2階ラーニング・コモンズにおいて開催しました。

本企画展は、国連により毎年10月11日に定められている女の子の権利促進について啓発する「国際ガールズ・デー」に合わせて企画したものです。企画展では、本学での女子学生の学びを支援する取組や関連資料の展示、及び無意識のバイアスについて考える各種資料を紹介しました。ジェンダー協働推進室からは、令和4年度に「琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞」を受賞した大学院生及び「岸本遺贈基金寄附金グローバル人材育成事業」を利用した大学院生より、研究活動の紹介や後輩に向けたメッセージを展示しました。



ジェンダー協働推進室からのお知らせ

●FD・SD 研修 ダイバーシティ推進セミナー

3月15日にFD・SD研修×ダイバーシティ推進として、右記2つのセミナーを開催予定です。詳細は、ジェンダー協働推進室ウェブサイトよりご確認ください。

午前：リーダーシップ・マネジメント概論 研修 (3時間)
午後：DE&I 促進のための
コミュニケーション 研修 (2時間)
※DE&I=Diversity, Equity, and Inclusion を指す

●令和6年度 各種事業の募集開始について

令和6年度事業のうち、右記の事業は3月以降、順次募集開始の予定です。詳細は、ジェンダー協働推進室ウェブサイトよりご確認ください。

- ・令和6年度第1期研究活動等支援員制度
- ・育児サポート・サービス及び病児・病後児保育利用料補助事業
- ・女性研究者介護帰省費用補助事業

研究活動等支援員制度 利用者・支援者の声

【利用者】

宮城 利佳子 保健学講師 (教育学部)

研究活動を効果的に進めるために研究支援員制度を活用して、今期で4期目です。支援員にはデータ入力作業や作成した原稿のチェック作業を主に依頼しています。また、オンライン講演、シンポジウムへの出席をお願いし、ノートをもとめてもらっています。これらにより研究時間を増やすことができるだけでなく、ミスをなくすことにもつながり、研究の質も高めることができ、非常にありがたい制度だなと感謝しています。

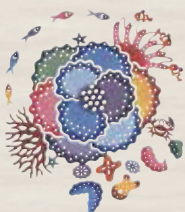
【支援員】

大城 空 (教育学部)

支援員としての勤務は、主にシンポジウム等のノートテイキングや宮城先生の研究のデータ整理を行いました。保育関連シンポジウムの視聴とノートテイキングは、保育に興味がある私にとって貴重な機会で、保育に関する専門知識や新たなアイデアに触れ、自己成長に繋がりました。研究のデータ整理では、情報整理や分析方法を学び、大学での研究に活かせました。両方の活動を通じて、専門知識の向上と研究スキルの発展を実感しています。

編集後記：ニューズレター Vol.6 をお読みいただきありがとうございました。多くの方のサポートによってジェンダー協働推進室の活動は支えられており、活動を通じて私自身にとっても大きな学びの場になりました。この場をお借りしてご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。(編集者：與那嶺)

支援事業やセミナー等の詳細につきましては、随時ジェンダー協働推進室HPで発信しております。



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室
Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675

E-mail:gender@acs.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/

